

まちの財政状況 平成25年度決算

壮瞥町が実施するさまざまな事業は、町民の皆さんが納めた税金や国・道からの補助金、町債（借入金）などを財源として行っています。平成26年9月19日開会の平成26年第3回定例議会において、平成25年度決算が認定されましたのでお知らせします。

歳出総額は 46億8,521万2千円

(※一般会計・特別会計合計)

前年度比0.1%の増 (464万3千円増)

●一般会計

歳入決算額 35億1,822万円 (前年度比3.1%の減)

平成25年度の歳入総額は35億1,822万円で、前年度と比較すると1億1,096万円の減額となっています。

歳入全体の主な減額要因は、平成24年度に行った、ふれあい団地整備事業（南久保内地区）が無くなったことによる国庫補助金、町債収入が減額になったことによるものです。

一方、町税のうち入湯税は観光客の入り込みが東日本大震災前の水準に戻りつつあること等により、前年度決算と比較して650万円の増(前年度比22%の増)となり、町税全体では620万円の増額(前年度比1.6%の増)となりました。

また、地方交付税と地方交付税の実質的な振替財源である臨時財政対策債の総額についても、前年度に比べて2,847万円の増額(前年度比1.4%の増)となりました。

(単位：千円)

区 分	平成24年度		平成25年度	
	総額	構成比	総額	構成比
町税	394,288	10.9%	400,483	11.4%
地方交付税	1,905,195	52.5%	1,933,741	55.0%
国庫・道支出金	571,550	15.7%	491,067	14.0%
町債	289,816	8.0%	198,736	5.6%
繰入金	66,574	1.8%	49,338	1.4%
その他	401,754	11.1%	444,855	12.6%
歳入合計	3,629,177	100.0%	3,518,220	100.0%

歳出決算額 33億8,045万円 (前年度比2.8%の減)

平成25年度の歳出総額は、33億8,045万円で、前年度と比較すると9,701万円の減額となっています。主な性質別に平成24年度の決算と比較すると、人件費の減額は、国からの要請を踏まえ、H25.7.1～H26.3.31の期間、平均3.26%の給与削減を行ったことによります。投資的経費の減額は、ふれあい団地整備事業（南久保内地区）が無くなったこと等によります。公債費の増額は、平成17年度から5か年計画で行った、まちづくり交付金事業等で施設を整備した際に借入した地方債の元利償還金がピークの年度であったためです。その他、扶助費の増額要因については、H25.8.1より中学生以下の子どもの医療費を無料化したことや、就労支援施設の利用者が増加傾向にあるため、給付事業費が増加したためによるものです。

(単位：千円)

区 分	平成24年度		平成25年度	
	総額	構成比	総額	構成比
人件費	718,591	20.7%	687,977	20.4%
物件費	485,897	14.0%	527,709	15.6%
維持補修費	69,125	2.0%	59,269	1.8%
補助費等	416,305	12.0%	424,592	12.6%
投資的経費	625,283	18.0%	491,881	14.6%
公債費	569,293	16.4%	616,812	18.2%
繰出金	372,855	10.7%	316,206	9.4%
扶助費など	220,105	6.3%	256,000	7.6%
歳出合計	3,477,454	100.0%	3,380,446	100.0%

※百分率の算出にあたっては、小数点第2位を四捨五入し小数点第1位表示としているためその和は必ずしも100%に一致しない。

●特別会計の決算

(単位：千円)

会 計 名	歳 入	歳 出	差引額
国民健康保険	507,109	491,627	15,482
後期高齢者医療	41,586	40,772	814
介護保険	329,486	323,319	6,167
簡易水道事業	142,468	141,899	569
集落排水事業	303,506	303,013	493
壮瞥診療所	4,438	4,136	302

●基金残高の状況 (※基金は家庭での貯金にあたるものです)

当初予算では、財源不足を補うため、財政調整基金繰入金やピークに達する公債費に減債基金繰入金を計上していましたが、普通交付税が予算額より2億3,754万円上回ったことや国からの要請を踏まえ、H25.7.1～H26.3.31の期間、平均3.26%の給与削減(手当等も減額)を行ったこと等により余剰財源が生じ、最終的にはこの2つの基金からの繰入れを行いませんでした。特定目的基金の国際交流基金、国鉄胆振線代替基金については、例年どおり各事業にかかる経費分の繰入れを行いました。基金残高全体では、平成24年度末との比較で2,961万円の増加(前年度比1.4%の増)となりました。

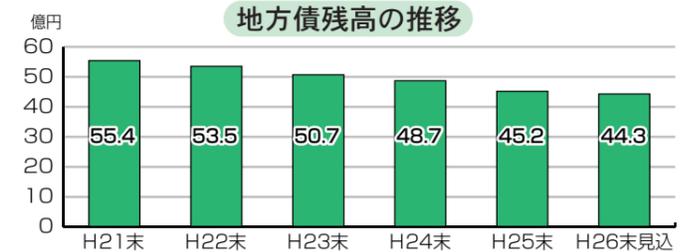
区 分	平成25年度末
財政調整基金	6億4,365万円
減債基金	1億1,188万円
国際交流基金	4億657万円
国鉄胆振線代替基金	1億7,649万円
その他特定目的基金	3億9,205万円
備荒資金組納付金	4億3,527万円
合 計	21億6,591万円



●地方債残高の状況 (※地方債は家庭での借金にあたるものです)

地方債残高は、45億2,471万円で平成24年度との比較で3億4,604万円の減(前年度比7.1%の減)となっています。平成21年度で大型事業が終了し地方債残高は減少していますが、元利償還金のピークは平成25年度で今後もしばらくの間は多額で推移することから、収支のバランスを検証しながら借り入れする必要があります。

区 分	平成25年度末
公営住宅建設事業債	11億2,329万円
過疎対策事業債	16億6,054万円
臨時財政対策債	13億2,898万円
そ の 他	4億1,190万円
合 計	45億2,471万円



●平成25年度決算に基づく健全化判断比率等の公表について

平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が公布され、毎年度の決算に基づく健全化判断比率と公営企業における資金不足比率を算定し、議会に報告するとともに公表することが義務づけられています。壮瞥町の平成25年度決算に基づく健全化判断比率と公営企業における資金不足比率をお知らせします。

健全化判断比率

健全化判断比率	壮瞥町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—※	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	—※	20.0%	30.0%
実質公債費比率	13.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—※	350.0%	

※実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合は「—」と表示。

資金不足比率

資金不足比率	壮瞥町の比率	早期健全化基準
簡易水道事業特別会計	—※	20.0%
集落排水事業特別会計	—※	20.0%

※各比率の「—」は、資金不足がないことを表します。